

◆開催概要

日時：10月31日(月) 18:30～21:10
 場所：荷竹自治会館 出席者：検討会メンバー27名

まちづくりの方針について出た主な意見

まちづくりの方針については、3班で意見を出し合った結果、大きく以下の4つの方針に意見の集約、共有が図られました。

多くの世代が安心して暮らせる便利なまち

- ・生活するのが便利なコンパクトなまち
- ・若い人も安心して定住できる土地
- ・若者が育つまちづくり
- ・楽しみのいっぱいあるまち
- ・安全で便利なまちづくり
- ・高齢化が進んでも住めるまち
- ・高齢化により医療の充実
- ・老人が楽しく住めるまちづくり
- ・子どもたちが安心して勉強できるまちづくり
- ・学園地区、スポーツ施設
- ・子どもたちが鮭を楽しめる（観察、育てる）施設又は自然公園（鮭公園など孵化場の活用）
- ・運動公園は将来的には津波被害のない場所に建設すべき
- ・老人、子どもが安全安心に暮らせるまちづくりとして保育所を清寿荘老人施設に近い瑞雲寺付近に移転したらどうか
- ・三陸縦貫道のインターは津軽石に設置してほしい。津軽石、重茂の漁業やコネクター製品の搬送に便利
- ・駒形橋は大型車両がすれ違うことのできる広い幅員の橋にして欲しい
- ・交通網の見直しをする。JRはルート変更が必要
- ・平地部の排水を良くしてほしい
- ・排水路の整備（農業用水）

津軽石川の豊かな自然環境を残したまち

- ・原風景と残す
- ・鮭のまち
- ・津軽石川を中心として自然を基盤とした安全なまち
- ・津軽石川を子々孫々まできれいにする
- ・白鳥がたくさん来るような景観にすべき
- ・自然環境に配慮したまちにすべき
- ・津軽石川がいつまでも鮭ののぼる清流を保つように
- ・津軽石は鮭川で全国的に有名である。その観光地にふさわしい他地区に優れる復興を望む
- ・白鳥と鮭を見おろす高台まちづくり
- ・自然と調和のとれた災害のないまちづくり

避難しやすい災害に強い安全なまち

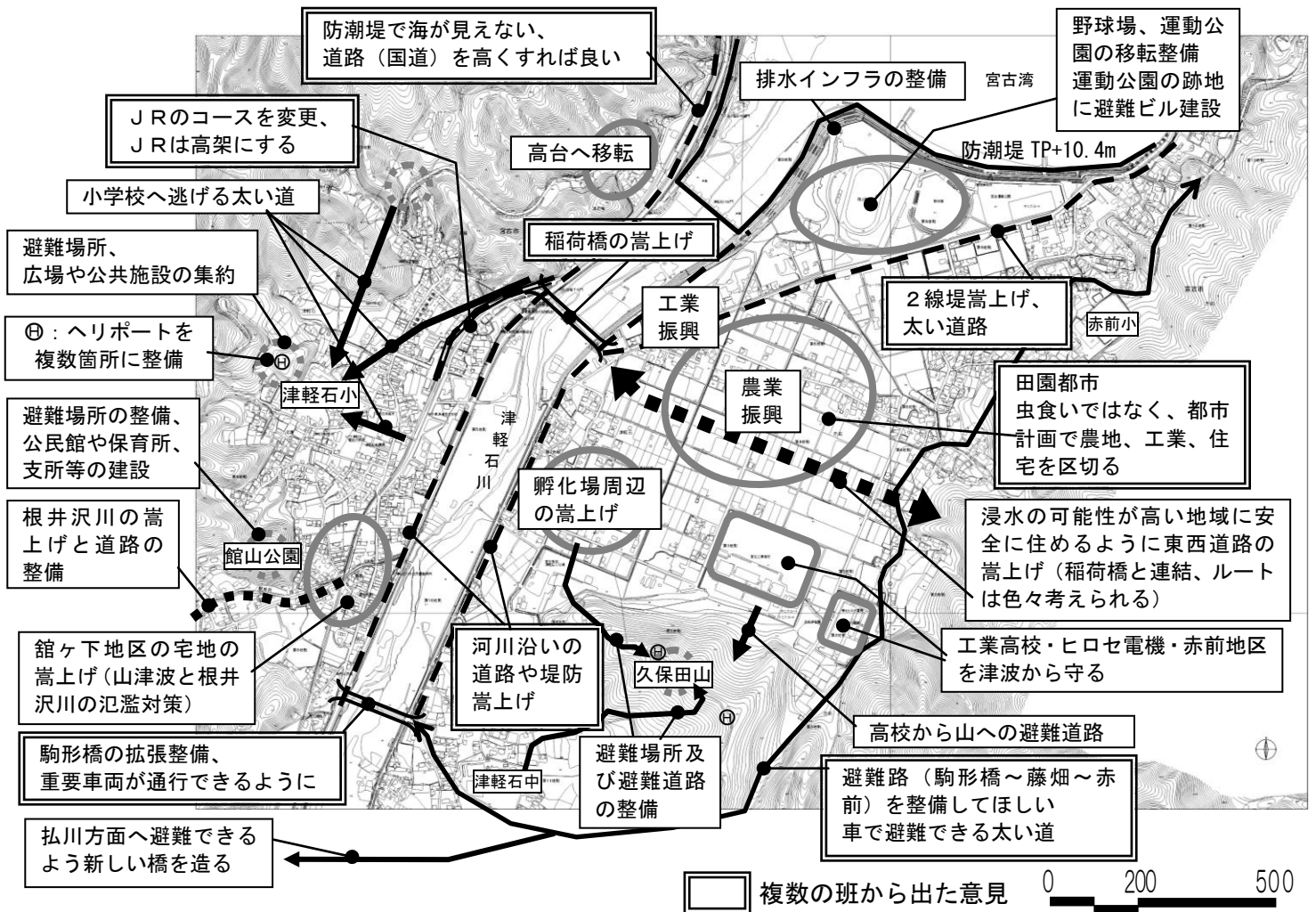
- ・安全安心のまちづくり
- ・災害に強いまちづくり
- ・防災のまちづくり
- ・被災の少ないまち
- ・安全安心して老若男女が生活できる地域に
- ・現在の防波堤の補強（幅広く、強固なもの）が大事
- ・防潮堤の嵩上げ
- ・稲荷橋～駒形橋～藤畑の堤防を補強、駒形橋までの堤防の嵩上げ
- ・県道を嵩上げしてほしい（2線堤、避難路、平地を守る）
- ・工業高校までの道路は広くしてほしい
- ・工業高校から山に至る道路の整備
- ・中学校からの避難路整備
- ・小学生を安心して迎えに行ける山側道路を造ってほしい
- ・駒形橋から藤畑経由赤前に抜ける道路の拡幅整備する
- ・災害時に渋滞することなく避難できる道路網に
- ・津波のときに救護および物資の輸送が確実にできる道路が必要
- ・避難場所の充実
- ・赤前道路（海岸に近い所）に避難建築物がほしい
- ・久保田山にちゃんとした避難所（まわりも含む）
- ・保育所あたりに避難タワー
- ・孵化場あたりも埋め立ててほしい
- ・平地を守る（重茂線の嵩上げなど）
- ・樹木を植える（災害防止、ガレキ止め）

働きやすいまち

- ・農水産物バランスの取れたまちづくり
- ・水産業を営む方々に自由に海に出られるまちづくり
- ・地区の特徴を現す（鮭川）水産業等（養殖）
- ・新鮮な野菜や米が作れるまち
- ・浸水地域を農業地域に
- ・田圃は元に戻してほしい
- ・働きやすいまち（仕事ができる）
- ・遊休地を活用し産業の活性化できるまちにして欲しい
- ・企業を誘致し地区の所得向上を図る
- ・企業を呼ぶ、色々な会社ができるまち

用地別の土地利用の方針について出た主な意見

用地別の土地利用の方針について、3班で意見を出し合った結果、以下の図に示すような意見が挙げられました。特に、河川堤防に関する意見、避難場所や避難道路に関する意見が多いほか、地区特性を生かした土地利用に対する意見が共有できました。



今回の検討会で共有できた方針

検討会で確認し、共有できた方針を整理すると以下ようになります。これらの方針をもとに、次回以降検討を深めていきます。

◆地区復興まちづくりの方針について

- ・多くの世代が安心して暮らせる便利なまち
- ・津軽石川の豊かな自然環境を残したまち
- ・避難しやすい災害に強い安全なまち
- ・働きやすいまち

◆土地利用の方針について

- ・津軽石川左岸は浸水の危険性が高く、農地と工業、住宅を区分した田園都市づくりを考える。
- ・被災した支所や公民館など、高台へ移転させることを考える。
- ・高台での避難場所を整備するとともに、自動車避難できる避難路を考える。
- ・駒形橋から藤畑を経由し、赤前、重茂に繋がる避難路整備を考える。
- ・稲荷橋や駒形橋は渋滞がなく、逃げやすくするため嵩上げや拡張を考える。
- ・危険性が高い区域については、嵩上げや高台移転を考える。

◆堤防などについて

- ・河川堤防や国道、JRを嵩上げするなどにより、浸水を防ぐことを考える。

